

公益財団法人 新宿未来創造財団

平成 25 年度

「ベルリン市ミッテ区との青少年交流(派遣)」概要

◆青少年交流事業の趣旨

1992年8月、新宿区とベルリン市旧ティアガルテン区は、第1回青少年海外交流事業を実施しました。これ以後、両区は交流事業として青少年の派遣と受入れを交互に実施し交流を重ねています。

1994年友好提携調印が行われ、2001年には、旧ティアガルテン区と近隣の2区が合併して、新たなミッテ区が発足しましたが、新宿区と新ミッテ区は引き続き友好関係を継続しており、今回の派遣は1992年の派遣から数えて10度目の派遣となります。これまで総勢140名の新宿区青少年をミッテ区へ派遣し、148名のミッテ区青少年を新宿区へ受け入れました。

この交流事業において、青少年は新宿区の代表としてミッテ区を訪問します。「多文化共生を考える」という活動テーマの下、多くの外国籍住民が暮らすミッテ区にて施設見学・学習、地元の人々との交流、ホームステイなどを通して、青少年が異文化への理解を深めるとともに、地域社会を考える機会とします。

◆派遣都市

ドイツ連邦共和国ベルリン市ミッテ区ほか

◆派遣者募集期間

平成25年4月5日(金)～平成25年6月12日(水)

※5月13日(月)から5月24日(金)新宿区役所にてミッテ区を紹介するパネル展を開催

◆応募者数

30名【男性=6名/女性=24名】

◆選考方法

面接試験

◆派遣者数

12名【男性=4名/女性=8名】

◆派遣期間

平成25年8月18日(日)から平成25年8月30日(金)まで(12泊13日間)

◆現地宿泊施設

・CITYHOSTEL-BERLIN (Glinkastr. 5-7 | 10117 Berlin)

・Mühle Gollmitz (Mühlenberg 12, Ortsteil Gollmitz, 17291 Nordwestuckermark)

◆主な内容

現地青少年との交流

ミッテ区長表敬訪問・ミッテ区議員訪問

ホームステイ(4泊5日)

ベルリン市内観光(強制収容所見学・壁博物館見学・ミッテ区歴史博物館等)

ベルリン郊外での体験学習(1泊2日)

ベルリン市ミッテ区紹介

ベルリン

ドイツの首都。1990年に東西統合され、活気に満ちた国際的文化都市へ生まれ変わっている。ベルリンは12の地区に分かれ、各地区がそれぞれ特徴を持っている。緑が多く自然があるかと思えば、国際都市の雰囲気にも溢れている場所もあり、多様な特徴を持っていることが首都ベルリンを特別なものになっている。ドイツ連邦議会議事堂、博物館島、シャルロテンブルク宮殿、ポツダム広場など、さまざまな見所の宝庫となっている。

ベルリン市ミッテ区

ミッテ (Mitte) とは、ドイツ語で「中央、真ん中」という意味で、その名のとおりミッテ区はベルリン市の中央に位置している。



新宿区ーミッテ区

新宿区は、1990年より、ドイツ連邦共和国ベルリン市の中心に位置するティアガルテン区と友好交流関係を開始した。両区は、ともに国の首都の中心にあるという立地の類似性や、多くの外国人居住者を抱え、都市再開発など共通の問題点を抱える点等、多くの共通項が認められている。2001年にはティアガルテン区と近隣の2区が合併して、新たなミッテ区が発足し、首都ベルリンの「中央区」として、政治経済におけるドイツ全体の中心ともいえる重要な位置を占めている。東京の中心新宿と、ベルリンの中心ミッテ区という似通った立場の両区が、さまざまな面で互いに学び合うことは、双方にとって大いに役立つものと考えられている。

ミッテ区と新宿区の比較

面積	人口	人口密度
ミッテ区 : 39.47k m ²	ミッテ区 : 329,969人	ミッテ区 : 8,360人/k m ²
新宿区 : 18.23k m ²	新宿区 : 322,902人 (平成25年8月現在)	新宿区 : 17,713人/k m ² (平成25年8月現在)